

中国黒龍江省の研修生を受入れしました

環境科学研究センターでは、平成18年度から独立行政法人国際協力機構(JICA)「草の根技術協力」として、山形県と友好県省の中国黒龍江省に残留農薬分析の技術協力を行っています。

平成23年度は、9月7日から10月4日までの約1か月間、研修員2名を受け入れて研修を行いました。

研修を受けたのは、黒龍江省環境観測センター李経緯さんと、ハルビン市環境観測センター王雅輝さんのお二人です。

研修の内容は、黒龍江省やハルビン市において、水環境中の残留農薬の分析に関して技術を確立すること、また分析技術を普及させるための「人材養成」という点から、河川の水や湖沼の底にある泥に含まれる農薬の分析技術の習得でした。ほか、日本にはない農薬の分析手法の技術研究もあわせて行いました。

研修では、河川水や湖沼の泥の採取から始まり、それらに含まれる農薬を分析機器で測定するための前処理、分析機器の取扱い、結果の評価を行いました。

研修最終日には、JICAを交え研修成果の発表があり、1か月という短い期間でありながら、お二人の技術が、かなり向上したことがうかがえました。また、新たに分析技術の課題の発見もあったことから、研修の成果は十分にあったかと思います。

当センターでの研修の合間に、県衛生研究所での食品中の残留農薬検査や放射性物質の検査ほか、ごみ処理場などの施設も見学しました。また、休みの日には、山形名物「いも煮会」を職員有志が行い、芋煮を堪能していただきました。

今後お二方の研修の成果が、黒龍江省やハルビン市で発揮されることをセンター職員一同期待しています。

再見～！



No.1 来所初日(熱烈歓迎会)



No.2 沼の泥の採取



No.3 分析実習(泥の前処理)



No.4 分析実習(農薬の抽出)



No.5 衛生研究所での見学



No.6 研修終了(修了書交付)



環境関連イベントの結果



子育て応援すこやか2011

= 6月25日、26日 =

今年も牛乳パックを利用した「立体パズル」ほか「ヘンテコストロー飛行機」や竹とんぼならぬ「紙とんぼ」を作りました。子ども達よりも大人のほうが夢中になって作っていたようでした☆

うまーく飛んだかな？

ビー玉コースターは大盛況！
牛乳パックを使っての工作



親子で楽しむ環境科学体験デー = 6月5日 =

環境科学研究センターはどんなことをやってるの？ということを知っていただくために毎年行っているイベント。今年も179人も多くの方々にお越しいただきました。



○川に棲む水生生物の観察

いろんな生き物がいるなかで、これがあのカゲロウの幼虫!？おとなになった姿とこどもの姿とのちがいに驚きをもってみていました。

かわいらしいものや、店で売られているものくらいに上手に仕上がった美しい手紙もありました。暑中お見舞いに出すには MOTTAINAI。



○紙すきで手紙作り いらなくなった牛乳パックを利用して、手紙を作りました。切り絵や花びらを使っていろいろなモチーフの絵柄でとても

○酸性雨ってなんだろう？ そのしくみについて、実験器具を使って実演。大気環境のことは、ニュースでいろいろ流れているけど、イマイチピンとこない。そこで「ちっちゃい世界」を作って、見てわかるよう説明していました。これで酸性雨ってなんだかわかったかなあ???



○エコ丸くん登場 こどもエコクラブのイメージキャラクターが駆けつけてくれました。その愛らしい姿に子どもたちの人気者に。ありがとう！



環境学習をお手伝いします！

環境科学研究センターでは、施設を利用した環境学習が行えます。希望する学習内容やテーマについて、専門の担当者がわかりやすく説明します。講義形式はもちろん、実験を通じた体験学習もおすすめております。希望の時間に合わせたカリキュラムをご提案させていただきます。また、出前授業や県環境アドバイザーの派遣も行っております。もちろん、派遣経費や材料代などすべて無料です！ぜひ、お気軽にご相談下さい。

開館時間：9：30～17：00(土・日・祝日は休館です)

山形県環境科学研究センター

村山市楯岡苗田三丁目2-1 TEL：0237-52-3124

e-mail: ykankyose@pref.yamagata.jp

編集：環境企画部

平成23年10月発行